

3月医療安全ニュース

2019年3月6日 あおもり協立病院 医療安全管理室

MRI 問診票の追記 3月1日（金）～

先月のMRI学習会に参加されたみなさん、講師を引き受けて頂いた放射線科スタッフの方々お疲れ様でした。30分という短時間での学習会でしたが224名の方が参加してくださいました。感想中には「アートメイクやヒートテックが熱傷の原因になるとは思わなかった」など初めて得る知識があったようで、とても充実した時間だったと思います。質問時間を割愛してしまいましたが、看護師さんから「ICMの項目が該当した場合、誰が責任を持って連絡するのか？」と質問が上がりました。（とても良い着眼点だと思います）

実は・・・ICMの項目が該当した場合の連絡フローがありませんでした。

誰がチェックし、誰が責任を持ってアラートを発信するのか。

この看護師さんからの質問のおかげで「患者安全」の道筋が新たに加わりました。

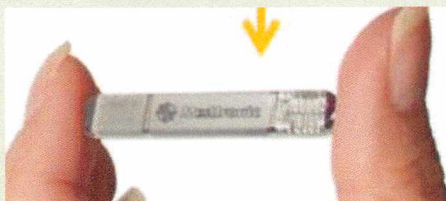
今回はICMとは何か？該当した場合の禁忌情報入力の方法、連絡フローをご紹介します。

ICM（植込み型心臓モニタ）とは・・・

心電図を24時間モニタリングし、不整脈発生時の心電図を記録する植込み型の機械です。

心電図検査及びホルター心電図では特定できない、原因不明の失神や潜因性脳梗塞の診断が可能になります。3年間の遠隔モニタリングが可能です。

あおもり協立病院でも2019年3月時点で既に8件の植え込み術を実施しています。



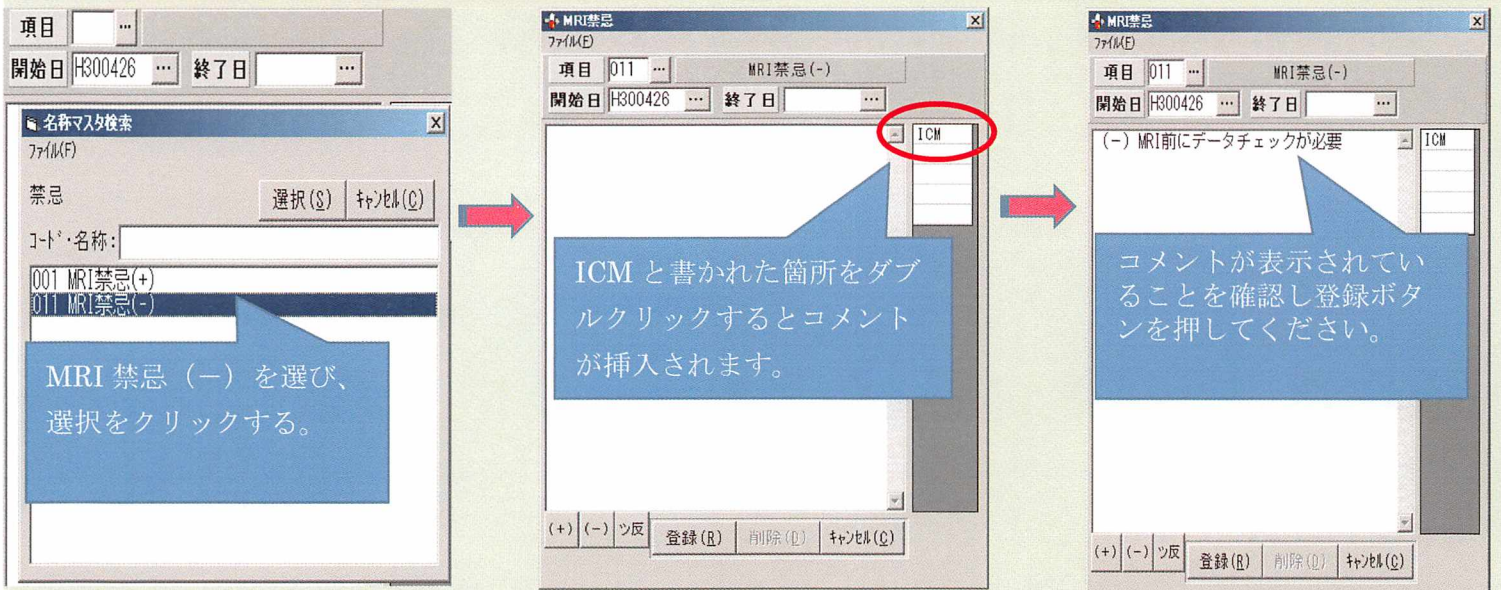
ICM（植込み型心臓モニタ）の患者がMRI検査を施行した場合、**モニタリングの過去の記録が消えてしまう可能性があり、検査前にCE科の設定変更が必要**になります。

そこで、ICM（植込み型心臓モニタ）の患者様について、MRI検査の実施前の問診の段階で、MRI検査実施前に設定変更が行えるように**MRI問診票に（8）の設問を変更**します。

※MRI禁忌ではないが確認事項		
植込み型心臓モニタ(ICM)を使用していますか？		(はい・いいえ・わからない)
(8) (はい)の場合		
- 問診入力者がCEに連絡		
- 禁忌情報登録	MRI禁忌(-) 内容「MRI前にデータチェックが必要」と入力する	
この部分「CEに連絡する」を ↓ 「問診入力者がCEに連絡」に変更致しました。		

次のページではMRI問診表でICMが該当した場合の**入力方法と連絡フロー**を説明いたします。

禁忌情報の入力方法をご紹介します。

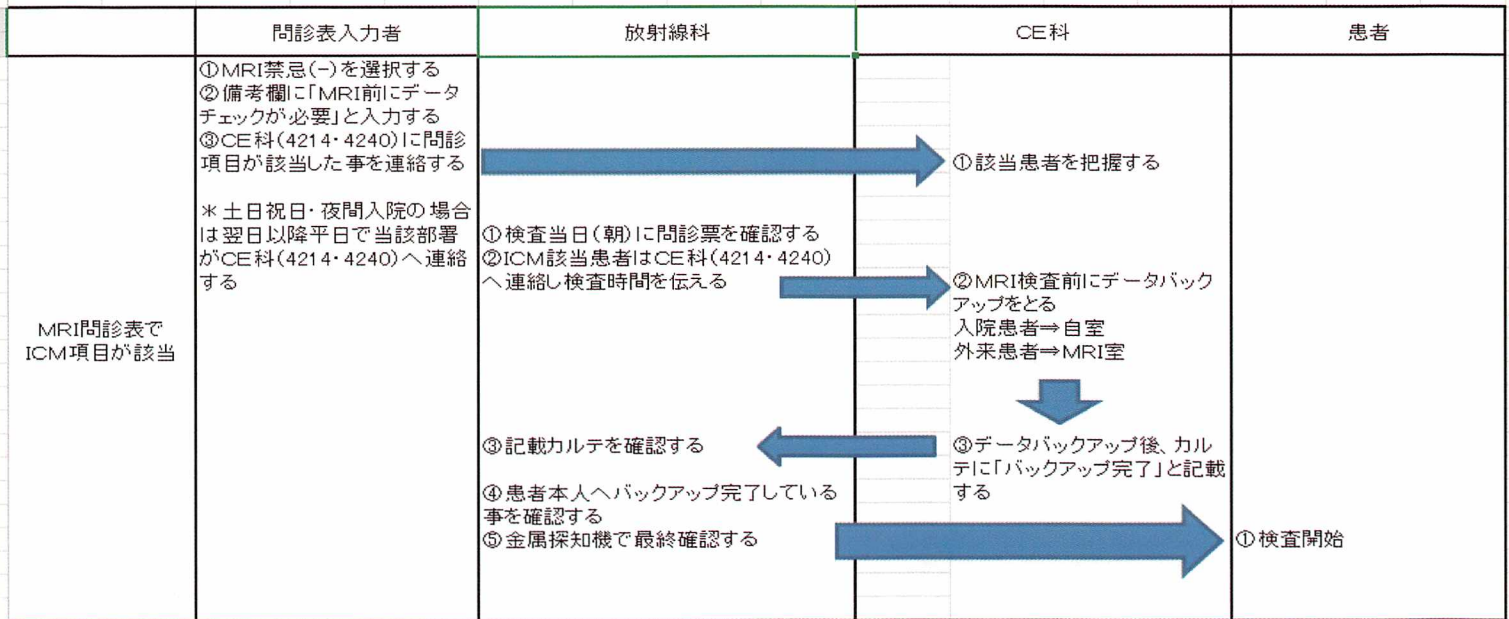


禁忌情報			
開始日	区分	項目	内容
H30/ 4/26	(MRI)	MRI禁忌 (-)	(-) MRI前にデータチェックが必要

入力完了です。

連絡フローです。

MRIに検査におけるICM項目(植え込み型心電図モニター)が該当した場合の連絡フロー



注意: 入院中ICM(植え込み型心電図モニター)挿入した場合、当日の担当看護師がCE科(4214・4240)に連絡し禁忌情報の更新を行ってください
 * ICM(植え込み型心電図モニター)はデータのバックアップをせずにMRI検査を行うとデータが全て消去されます。ICM項目が該当した場合は忘れずにCE科へ連絡してください。
 2019年2月作成

入院中にICMを行った場合は当時担当看護師が禁忌情報の更新をお願いします。
 連絡フローは医療安全マニュアル第20章「問診表」の中に記載されております。
 今月は医療安全学習会2回目「転倒転落」について全職員対象で行います。サイボウズで日程確認して頂ければ幸いです
 たくさんの方の参加をお待ちしております。